

世界のこども日本語ネットワーク推進事業 第2回「海外児童日本体験プログラム」

- ◆ 海外招聘校 審査開始
- ◆ 日本国内参加校 応募受付開始

財団法人 博報児童教育振興会（理事長 近藤道生）は、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」（※別紙参照）の一環であります「海外児童日本体験プログラム（日本と海外の児童・生徒との異文化交流助成）」の実施に向けて、海外招聘校の審査と、日本国内参加校の応募受付を開始いたしました。

- ・ 今回、日本へ招聘する海外校は、2008年10月に実施いたしました「海外教師日本研修プログラム」の参加校（9ヶ国）を審査の上、決定いたします。
- ・ 国内参加校は下記の要領に基づき、日本国内の中等教育機関より公募いたします。

◆ 第2回「海外児童日本体験プログラム」概要

2007年3月に新設いたしました「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」は、3つのプログラムとWebで構成されております。「海外児童日本体験プログラム」は、2008年10月に実施した「海外教師日本研修プログラム」に続く、本事業2つ目のプログラムです。海外で日本語を学ぶ中等教育機関の外国人生徒を日本へ招待し、日本の児童・生徒との日本語による交流プログラムを通して、国内外の児童・生徒が、日本語や日本の文化への理解と関心を深めることを目的としております。また、本プログラムで構築された国内外校のネットワークは、日本の児童・生徒が海外校を訪問し日本語で交流する、本事業3つ目のプログラム「日本児童海外体験プログラム」へとつながっていきます。（※ 別紙事業構造図参照）

[来日予定校]

◇ 国と人数

- ▶ インド、インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム、台湾、ハンガリー、ルーマニア、モンゴルより各1校、計9校（予定）
- ▶ 各校生徒4名、教師1名の計5名（予定）

※ 2008年10月実施の「海外教師日本研修プログラム」参加者の所属校より審査します

◇ 体験概要（予定）

- ▶ 日本の伝統文化・生活を知る各種体験プログラム
- ▶ 日本の中学校訪問、生徒との交流プログラム
- ▶ ジャンボリー（キャンプファイヤー）
- ▶ ホームステイ ほか

[国内参加校]

◇ 応募条件

- 日本国内の中等教育機関であること
- 学校訪問の受入れ（授業見学/ホームルームでの交流/クラブ活動の見学・参加）およびジャンボリーへの参加ができること
- 学校としての正規の授業として受入れが可能なこと
- 本プログラムの専任担当をつけられること（受入れ予定のクラス担任でも可）
- 本プログラムの映像への記録並びに成果物について、DVDやホームページ上で開示することについて了解すること（ただし、財団の活動の範囲内に限る）
- 2010年度以降に実施予定の「日本児童海外体験プログラム」への参加が可能なこと
 - ※ 次期開催予定の「日本児童海外体験プログラム」の参加校公募の際、本プログラムの国内参加校の応募校が優先されます
 - ※ 生徒家庭へのホームステイのアレンジが可能な学校を優先する場合があります

◇ 助成内容（予定）

- 受入れに係る実費：別途定める規則に従い、一定の範囲内で当財団にて負担します
 - A. 授業等学校内での準備費
 - B. ホームステイでの食費・備品準備費
- ジャンボリー参加に係る実費
 - A. 交通費：当財団にてバスなどの交通手段を手配、または実費を支給します。
 - B. 食費・宿泊費：当財団にて手配・提供いたします。

[スケジュール]

- 募集期間：2009年1月13日～2月13日
- 結果通知：2009年3月
- 実施期間：2009年5月31日～6月9日（予定）

※ 応募方法など詳細は、当財団ホームページより『世界のこども日本語ネットワーク推進事業「海外児童日本体験プログラム」応募要項』をダウンロードしご確認ください。

当事業ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/globalnet/index.html>

<この件に関するお問合せ>
〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8階
財団法人 博報児童教育振興会
世界のこども日本語ネットワーク推進事業担当
TEL 03(5570)5008
FAX 03(5570)5016
Eメール hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp
ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>

(別紙) 「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」について

博報児童教育振興会は1970年に児童教育を振興する目的で文部省(当時)認可の財団法人として設立されました。以来、児童・生徒の教育において優れた実績を上げられた個人・団体を顕彰する「博報賞」をはじめ、時代の変遷に併せて多角的な支援を行うべく、事業を拡充・発展させて参りました。

そして2007年3月、国際化が進む昨今において、日本の児童・生徒が日本のことばと文化的確な理解に根ざし、さらに健全な国際人へ成長することを支援するため、日本の児童・生徒の異文化体験、日本語を学ぶ海外の児童・生徒の日本体験を核とした、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」を開始いたしました。

◆ 事業目的

- ・ 国内外の児童・生徒が、日本語による国際交流を行うことを通じて、日本のことばと文化を理解・再認識し、健全な国際人として成長することに寄与する。
- ・ 海外の学校教育における日本語授業の活性化や授業環境の向上を図り、日本のことばと文化への理解・関心を促進する。
- ・ 中長期にわたって事業を継続・展開することで、日本語教育のグローバルネットワークを構築する。

◆ 事業構造

本事業は、日本の児童・生徒と海外で日本語を学ぶ児童・生徒との交流を、一定のサイクルで実施し、それに先立つ活動として、海外の日本語授業環境整備のための助成活動を行う以下のプログラムで構成しております。

◇ 海外教師日本研修プログラム(海外日本語授業環境整備助成)

海外の初・中等教育機関(日本の小・中学校に相当)の日本語教師(日本人を除く)を日本に招聘し、研修会の実施など授業環境整備に向けた支援を行う。

◇ 海外児童日本体験プログラム(日本と海外の児童・生徒との異文化交流助成)

海外の初・中等教育機関(日本の小・中学校に相当)で日本語を学ぶ児童・生徒を日本に招聘し、日本の先端技術や伝統芸能などの文化・社会体験と、学校訪問などの交流を通じた日本語・日本文化への理解と関心の向上を図る。

◇ 日本児童海外体験プログラム(日本児童・生徒の海外異文化体験助成)

日本の児童・生徒の海外訪問を支援することで、同世代の海外の児童・生徒との日本語を通じた交流と、異文化体験による日本語・日本文化の再認識、および国際人としての自覚醸成を促進する。

◇ WEBプログラム「HGN」(<http://www.hgnet.jp/>)

海外で日本語を教える先生や日本語を学ぶ児童・生徒に向けたコミュニティサイト。実際に行った交流・体験プログラムの内容紹介、日本語教育や日本文化などについての情報提供、また交流の場としての役割を担う目的で運営する。

<事業構造図>

